

入賞作品



☆ 静岡県知事賞（最優秀作品）
「ぼくの町の手作り屋台」（親子作品）
浜松市立下阿多古小学校
3年



☆ 静岡県教育委員会教育長賞
「伊達のかぶと」（親子作品）
伊東市立宇佐美小学校
3年



☆ 静岡県教育研究会長賞
「郵便受け」（親子作品）
浜松市立犬居小学校
6年



☆ 静岡市長賞
「ウッド界のロックンローラー」
静岡県立静岡南部特別支援学校
中3年



☆ 静岡市教育委員会教育長賞
「自然のイス」
吉田町立住吉小学校
6年



☆ 静岡県経済産業部長賞
「これではっちり!たくさんしまえるスライド式本立て」
浜松市立蛸塚中学校
2年



☆ 静岡科学館長賞
「ぽんぽん帆船」
菊川市立菊川西中学校
1年



☆ 静岡県森林組合連合会長賞
「なんでも入る!!BIGもの入れ」
浜松市立蛸塚中学校
2年



☆ 静岡県木材協同組合連合会長賞
「かいじゅうしゅつげん」
牧之原市菊川市学校組合立牧之原小学校
2年



☆ NHK静岡放送局長賞
「安全・便利！カーブの収納」
浜松市立蛸塚中学校
2年



☆ 静岡新聞社・静岡放送賞
「水車」(親子作品)
静岡市立清水和田島小学校
2年



☆ 中日新聞東海本社賞
「木箱」
浜松日体中学校
2年



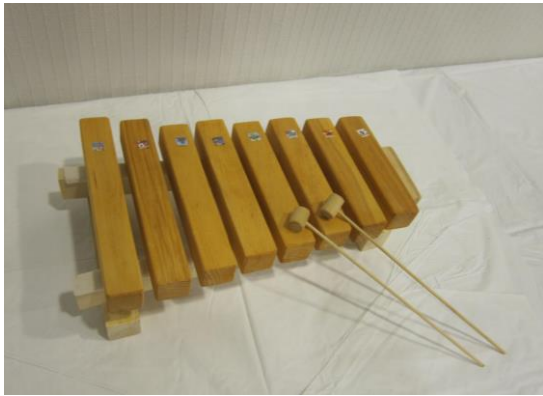
☆ テレビ静岡賞
「未来カフェ」
吉田町立住吉小学校
3年



☆ 静岡朝日テレビ賞
「おそれぬ馬」
静岡県立静岡南部特別支援学校
中1年



☆ 静岡第一テレビ賞
「折りたたみイス」
藤枝市立藤枝中学校
2年



☆ K-mix賞
「手作りモッキン」(親子作品)
伊東市立宇佐美小学校
2年



☆ Fm Haro!賞
「本だな」
菊川市立菊川西中学校
1年

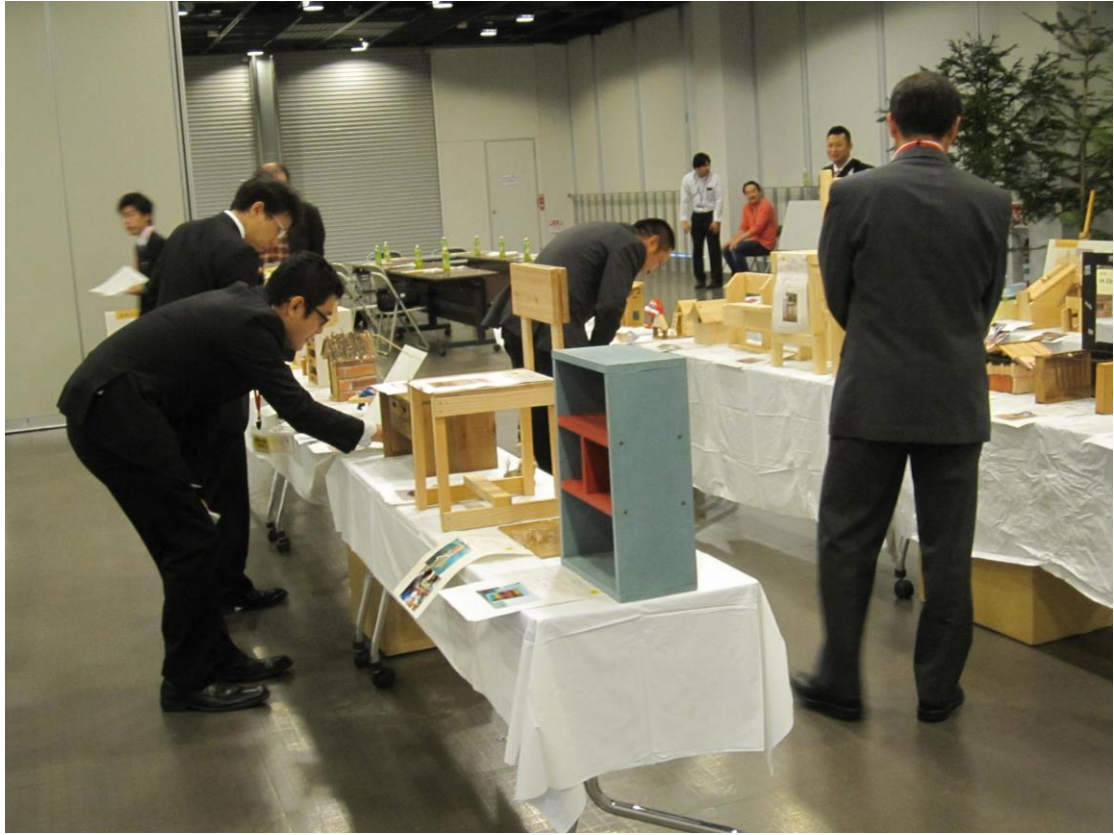


☆ 日本木材青壮年団体連合会長賞
「ミニテーブル」
菊川市立菊川西中学校
2年



☆ 静岡県木材青壮年団体連合会長賞
「金とびちよきんばこ」(親子作品)
小山町立須走小学校
2年

審 査 会



- 1. 日 時 平成28年10月29日(土) 13:00~15:00
- 2. 会 場 静岡市駿河区南町 14-25「静岡科学館る・く・る」企画展示室
- 3. 審査員 (敬称略、順不同)

No.	所 属	氏 名
1	★審査委員長 静岡大学教育学部 名誉教授	今山 延洋
2	静岡県経済産業部農林業局 林業振興課 技師	佐野 貴洋
3	静岡市経済局農林水産部 中山間地振興課 主査	大須賀紀夫
4	静岡市教育委員会 学校教育課 指導主事	小泉 憲明
5	静岡科学館る・く・る 館長	長澤 友香
6	静岡県森林組合連合会 系統部長	渡辺 英彰
7	静岡県木材協同組合連合会 専務理事	又平 義和

☆ 作品審査の感想

審査委員長／静岡大学名誉教授 今山延洋



森に行って、工作に使った板の元の姿を調べてみましょう。

審査には3つの基準があります。①木の持ち味が出ていること、②機能やデザインが優れていること、③工作技術が優秀であることに配慮して、選考が行われました。

全国大会へ出品される上位6点については、小学校1～4年生の低学年と5～6年生の高学年、中学生のそれぞれから2点ずつが選ばれるように配慮しました。

県知事賞の浜松市下阿多古小3年男子「ぼくの町の手作り屋台」は、細かいところにも配慮が行き届いていて、仕上がりも丁寧で、いまにもお祭りの屋台が動き出しそうです。

県教育委員会教育長賞の浜松市犬居小6年女子「郵便受け」は、白木の感じがよく出ていて作りもしっかりしています。

県教育研究会会長賞の伊東市宇佐美小3年男子、「伊達のかぶと」は、広葉樹の板と塗装でカブトの重厚さがよく出ています。

静岡市長賞の静岡南部特別支援中3年女子「ウッド界のロックスター」は、流木を組み合わせただけでなく色づかいもうまく、今にも踊り出しそうです。

静岡市教育委員会教育長賞の吉田町住吉小6年男子「自然のイス」は、白木の角材に切り込みを入れて接合した丈夫なイスです。

静岡県産業部長賞の浜松市蛸塚中2年女子「これでばっちり！たくさんしまえる スライド式本立て」は、横へ広げる動きがスムーズで、使い込んだ感じの塗装がうまくできています。

その他の賞がついた作品として、

- ・板を使ったものに、木箱、折りたたみイス、本だな、金とび貯金箱、なんでも入るBig物入れ、安全・便利！カーブの収納
- ・本立てや収納に、なんでも入るBig物入れ、カーブの収納、本だな
- ・使って楽しい物に、木箱、金とび貯金箱、手作りモッキン、ミニテーブル
- ・飾って楽しい物に、帆掛け船、未来カフェ、かいじゅうしゅつげん
- ・流木や枯れ枝を使った、飾って楽しい物に、おそれぬ馬
- ・動いて面白い物に、ぼんぼん帆船、水車、がありました。

作品が展示されていた会場には、濃い緑がいっぱいの、大きな木の枝が展示されていました。これらの木は、大井川の上流の川根の森から運ばれてきたものです。4つの種類があり、葉っぱの形や枝振り、色の濃さ、そして香りも違ってきます。4つの木の名前は、杉、ヒノキ、モミ、カシです。

カシの葉は平べったく、縁がノコギリの歯のようにギザギザしています。カシの木の実はドングリです。モミはクリスマスツリーに使う、あのもみの木です。葉の先を軽く触ると、少しちくちくします。

ヒノキの葉は小さな平べったい葉がつながっています。ヒノキの匂いはちょっとツンとして気持ちが活性化して集中するような感じがします。葉の裏にはYの字があります。

杉の葉はふんわり房状に集まった感じで、葉っぱの緑色はヒノキの緑色よりは、少し薄い感じですが。杉の板の香りは気持ちを落ち着かせます。杉の実を使ってスギ鉄砲ができます。杉の実を口に含めて湿らせて鉄砲の玉にします。

森に行き、森の中で育っている姿を見たり、工作に使った板の元の姿を調べたりするのも楽しそうですね。森を管理し手入れをしている人達は、子どもたちが森に遊びに行けるように手入れをお願いします。